

第 42 回バイオレオロジー・リサーチ・フォーラムの御案内

第 42 回バイオレオロジー・リサーチフォーラムを下記の通り開催致します。本フォーラムでは、北陸地方で活躍するお二人の研究者にご講演頂きます。最初のご講演では、福井県立大学 松川雅仁先生に、冷凍すり身の筋原繊維タンパク質のゲル化挙動を基にした冷凍すり身の品質についてご講演いただきます。

二つ目のご講演では、富山大学 中村真人先生に、3D プリンティングを応用した再生医療工学の最新成果についてご紹介いただきます。北陸地方で進化する冷凍すり身と再生医療工学について存分に語っていただきますので、ぜひご堪能ください。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主 催: 日本バイオレオロジー学会

日 時: 2022年10月14日 (金) 10:40~12:20

場 所: 金沢歌劇座 (金沢市下本多町6番丁27番地)

テーマ: 「北陸で進化する冷凍すり身食品・再生医療工学」

司 会: 藤井修治 (東洋大学)

講 演:

1. 10:40~11:30

「冷凍すり身の製造と冷凍貯蔵中に起こる品質変化-筋原繊維タンパク質の食塩溶解性を指標として-」

松川雅仁 (福井県立大学 海洋生物資源学部)

冷凍すりみの主成分は筋原繊維タンパク質である。すりみ製造工程における熱ゲル化反応を制御するためには、筋原繊維タンパク質の塩に対する溶解挙動を理解しなければならない。しかし、スケトウダラの場合、その筋原繊維タンパク質は塩に対する溶解度が非常に低い。本講演では、塩に対する不溶化の原因について考察する。

2. 11:30~12:20

「再生医療工学：臓器を待つ人に臓器を再生して届けるための医工学」

中村真人 (富山大学大学院 生体情報システム科学専攻)

臓器提供を待つ患者は非常に多いが、健康な臓器の提供は、誰かの犠牲の上に成り立つ。この問題を解決するために、機械で臓器を超高速で組み立てる技術開発をしてきた。この次の展開として、再生医療だけでなく、臓器移植にも新しい局面を切り開くことを目指している。これらの試みの一端を紹介する。

参加費: 無料 (事前参加登録は必要ありません。)

学会員で無い方の参加も歓迎します。

問い合わせ先: 日本バイオレオロジー学会事務局

東海大学医学部内科学系循環器内科学

office@biorheology.jp